

— 在日常生活中的注意点 (打扫) —

这是日本以前的事。据说, 结婚前的女士常被问“你喜欢家务吗?” 家务, 对家庭生活来说是不可缺少的工作总称, 但是大多好像把打扫·洗衣·做饭作为代表性说法。好像一般认为: 女性结了婚便辞去工作, 走进家庭, 做家务是理所应当的事情。据说善长烹饪, 打扫以及洗衣也做得井然有序, 爱好干净的人, 视为好媳妇, 颇受欢迎。

在现代, 女性以高学历、进入社会, 与男性并肩努力工作, 大多是离开父母, 一个人生活。因而, 当然是边工作边做家务。尽管三餐可在外吃对付过去, 但是打扫以及洗衣不能委托外人。大都男性也是一旦就职, 就离开父母独立生活, 因此打扫以及洗衣仍然得自己做。

诸位研修生·技能实习生, 离开祖国单身来到日本, 得在日本生活一定期间, 大多情况是: 住房是职工宿舍或公寓, 房间是与朋友们同屋。对诸位来说, 打扫·洗衣·做饭等家务是必不可少的。

然后是关于家务中的打扫, 打扫的方法有各种各样, 这里就房间的打扫, 介绍日本的一般打扫方法。

首先, 打开窗让房间通通风。整理一下读完就那样堆在一旁的报纸以及杂志, 把脱下扔着不管的衣服

— 日常生活での留意点 (掃除) —

日本のひと昔前の話です。結婚前の女性は「あなたには家事が好きですか」とよく聞かれたそうです。家事とは家庭生活に欠かせない仕事全般をさしていますが、掃除・洗濯・炊事を代表格として言うことが多いようです。女性は結婚すると仕事を辞めて家庭に入り、家事をするのが当たり前のことのように思われていたようで、料理が上手で、掃除や洗濯もきちんとやるきれいな人は、いいお嫁さんとして歓迎されたそうです。

現代では、女性は高学歴や社会進出で、男性と肩を並べて仕事に励み、親元を離れて一人暮らしをすることが多くなっています。従って当然、働きながら家事もすることになります。たとえ食事は外食で済ませたとしても、掃除や洗濯は人任せというわけにはいきません。大抵の男性も就職すると親元を離れて独立して暮らしますので、やはり、掃除や洗濯は自分でやることになります。

研修生・技能実習生の皆さんは、母国を離れて単身来日され、一定期間日本で暮らすのですが、住居は社員寮やアパート、部屋は仲間達との相部屋の場合が多いと思います。皆さんにとっても、掃除・洗濯・炊事等の家事は欠かせないものになります。

さて、家事のうち掃除についてですが、掃除のやり方にはいろいろあると思いますが、部屋の掃除について、日本での一般的なやり方を紹介します。

まず、窓を開けて部屋に風を通します。読み終えて

叠好或挂在衣架上,区分不需要的东西以及垃圾,把房间整理得有条有理。然后,用吸尘器吸去掉在塌塌米以及地板上的食物碎块·头发、床下的棉尘等。用拧干的抹布擦去电视机以及架子上的尘埃。地板也用抹布擦干净。

每当抹布弄脏了,就要水清洗干净后使用。房间擦干净后的抹布要用肥皂清洗,并在太阳下晒干,这样就干净了,不会有令人讨厌的气味。抹布是把房间打扫干清的清扫工具,第一就必须干净。清洗完脸以及手用毛巾擦拭,但是回到家的时候,擦拭弄脏的脚也是抹布的作用,能把污垢带进房间。

一旦疏忽打扫,食物碎块·头发、尘埃、灰尘等就积起来,变得不清洁·不卫生,并且成为病原菌聚集的地方,没准儿在那里生活的人甚至会得病。说“不打扫也不会死”等偷懒,真是荒谬绝伦。

另外,也不该说“因讨厌打扫”或者“不善长打扫”。住宿,是解除你日常的紧张以及疲劳,使你明日重新恢复精神的个人空间。同时,若是宿舍或同屋生活的话,也是除了自己,他人的个人空间。从共同生活上的观点出发,也必须考虑家务的应有状态(这里指打扫)。诸位若是来日本学习日本的先进技术以及良好的劳动行为习惯的话,就更必须是能整理整顿身边的,有卫生观念的,具有协调精神的人。

接下来是关于垃圾的处理方法。垃圾箱·吸尘器里的垃圾、扫集出来的垃圾、没用的东西等,要在所规定的日子扔出,进行回收。在日本,防止环境污染,从各家庭扔出的不用之物作为垃圾处理,但为了顺利地进行垃圾处理,再利用·资源再生,几乎在所有的市区村都有回收的规定,市民要遵守。若不遵守规定则会给许多人添麻烦,难以与近邻居民建立良好的关系,因此要注意。

打扫后的房间·厨房·浴室·厕所·走廊·门口·家的外围等,外表也干净,心情也神清气爽,还能消除紧张状态。更进一步,甚至于能有宽裕和气接人。若能养成打扫的习惯,就太棒了。让我们每天就在清洁的住宿环境中生活吧!

そのままにしている新聞や雑誌を片付けたり、脱ぎっぱなしの服は畳んだりハンガーに掛けたり、不用になった物やゴミを区分けするなどして、部屋をきちんと整理整頓します。次に畳や床に落ちた食べ物のくず・髪の毛、ベッドの下の綿埃等を掃除機を使って吸い取ります。テレビや棚の上等の埃は堅く絞った雑巾で拭き取ります。床も雑巾がけをします。

汚れの着いた雑巾は都度、水で洗ってきれいにして使っていきます。拭き掃除が終わった後の雑巾は石鹸で洗い、日光を当てて乾かしておくといやな臭いもせず清潔です。部屋をきれいにする掃除道具である雑巾が、まず、きれいでなくてははいけません。洗った顔や手はタオルで拭きますが、帰宅した時等に汚れてしまった足を拭くのも雑巾の役目で、汚れを部屋に持ち込まなくてすみます。

掃除を怠ると、食べ物のくず・髪の毛、埃、塵等が積もり、不潔・不衛生になり、病原菌の住処となり、そこで生活する人は病気にもなりかねません。“掃除をしなくても死にはしない”などと言って怠けるのは言語道断です。

また、“掃除が嫌いだから”とか“掃除が苦手だから”と言う話でもないのです。住まいはあなたの日常の緊張や疲れを癒したり、明日へのエネルギーを再生するプライベートな場所です。同時に、寮や相部屋生活であれば、自分以外の人のプライベートの場所でもあります。共同生活上の観点からも家事のあり方(ここでは掃除)を考えなければなりません。日本の進んだ技術や良い労働慣行を学びに来日している皆さんであればなおさら、身の回りの整理整頓のできる人、衛生観念を身につけた人、協調の精神を持った人でなければなりません。

ところで、ゴミの処理方法についてですが、ゴミ箱・掃除機内のゴミ、掃き集めたゴミ、不要になったゴミ等は、決められた日にゴミ回収に出します。日本では環境汚染を防止し、各家庭から出る不用物はゴミとして処分されますが、ゴミ処理の円滑化、再利用・再資源化のために、ほとんどの市区町村で、回収のルールが定められており、市民はそれに従っています。ルールを守らないと多くの人が迷惑を受け、近隣住民との良い関係を築くことが難しくなりますので注意が必要です。

掃除をした後の部屋・台所・風呂場・トイレ・廊下・玄関・家の外回り等は、見た目もきれいで、心も清々しく気持ちよく、ストレスの解消にもなります。さらに、人にやさしく接するゆとりまでできます。掃除をすることが習慣になればしめたものです。日々、清潔な住環境の中で暮らしましょう。